



Team
Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第32号
令和3年 12月 8日

5年救急救命体験教室

～いざというときに「人の命が救える」人間の育成～



本校では「命を守る授業」として、3年生「防火体験教室」、5年生「救急救命体験教室」を実施しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できませんでした。今年度は、感染症対策を図りながら行うことができました。今回、5年生が行った「救急救命体験教室」は、主にAEDの使い方と胸骨圧迫(心臓マッサージ)についてです。

AEDは八千代市の主な公共施設に84台設置されており、そのうちの1台は、本校の保健室にあります。)

AEDとは、Automated External Defibrillatorの頭文字をとったもので、日本語訳は自動体外式除細動器といいます。小型の器械で、胸の上に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈(心臓が細かくブルブルふるえていて、血液を全身に送ることができない状態)を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること(電気ショック)で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。器械の電源を入れれば音声を使い方を順に指示してくれるので、誰でもこの器械を使って救命することができるそうです。

私たち教員は、子供たちの命を預かっていますので、研修会でAEDの操作の仕方や胸骨圧迫(心臓マッサージ)のやり方を学びますが、保護者の皆さまを含め、多くの方々は、見たことはあるけれど実際に操作を行ったことのある方は、そう多くはないのではないのでしょうか。

5年生の子供たちも、最初は少しちゅうちょした様子でしたが、AEDは、音声ガイダンスに従ってやれば決して難しいものではないということがわかり、進んで行う姿が次第に見られるようになってきました。

胸骨圧迫(心臓マッサージ)をしたり、AEDを実際に操作したりしなければならぬ場面に出くわすことは、そうめったにあるものではありません。しかし、万が一、自分の大切な人が目の前で心肺停止になってしまったら、一度でも操作したことがあるかないかという経験は、大きな違いになると思います。



学習後、子供たちは、AEDが市内のどこに設置されているのかを調べ、学習の振り返りをしました。子供たちの感想の一部を紹介いたします。



- 胸骨圧迫が一番大変だったけど、大切なことがわかりました。疲れてしまうけど、やらないと亡くなってしまうと思うだけで、怖くなりました。でも、しっかりやって人の命を守りたいです。(妃奈乃 さん)
- 私は、体験をやっているときに、胸を押すところは、手に力を入れないと全然押せませんでした。人は、もっとかたいから力を入れないと助かる可能性が低くなってしまっているので頑張ろうと思いました。AEDマップは、どこにでもあるとは限らないので、人が倒れていたら近くの人に助けを求めたり、119番通報をしたりしようと思いました。消防署の方からは、「みんなで協力して、一人でも多くの人の命を救いたい」という気持ちが伝わってきました。私も、その気持ちをもって行いたいと思いました。(くるみ さん)
- 体験してみて、すごく大変だと思った。特に心臓マッサージは「カチカチ」ならなくて、すごく大変だった。力のいる仕事なので女性がそれをやるのはすごいと思った。(颯花 さん)
※適切に圧迫ができていれば「カチカチ」と音が鳴る仕組みです。
- 私は、胸骨圧迫をやってみて、意外とかたかった。これを毎回やっている消防隊の皆様方がすごいと思った。AEDとか慌てずにやっていたのはすごい！！こまごましていたのを丁寧に落ち着いて行動していたのは、すばらしかった。このことを頭の片隅においておく！！(志麻 さん)
- AEDマップを調べてみて、思ったよりたくさんの場所にあっぴょりした。大和田駅にもあった。何かあったらマップにのっている場所に行こうと思う。(愛來 さん)
- 私は、AEDマップを調べてみて、大和田にもたくさんのところにAEDがあるということもわかったし、AEDの使い方もやっている人のことを見て、覚えることができたのでよかったと思いました。だから、消防士の人たちが一つしかない大切な命を助けていくように、私ももしもそのような場面にあったときは、同じように自分にできることをしたいと思いました。(紗奈 さん)
- 今日、救急救命体験の胸骨圧迫で強く押さないと脳が死んでしまい、笑ったり、歩いたりすることができなくなってしまうことを学びました。もし、このようなことが起きたら、まず、自分にできることをやろうと思いました。(珠路 さん)
- ぼくは、心臓マッサージ、AEDともにできたけど、それを実際に本当の人でやるともっとかたいし、本当の人を実際にやるというてもできないからそれが難しい。ぼくは、人の命を救いたいし、自分も人のために頑張りたい。(斗翔 さん)



- わたしは、胸骨圧迫のとき、はじめてやったので結構かたいと思いました。でも、消防士の方は、本当の人間はもっとかたいと言っていたので、消防士の人たちはすごいなと思いました。他にもAEDのつけ方ややり方をはじめて知りました。消防士の方は、人を助けるためにいろいろなことを知っていて、すごいなと思いました。(葉月 さん)
- 私は、救急救命体験をはじめてやって、最初はあまり理解できなかったけど、実際にやりながら覚えることができました。人が倒れていたら消防士さんに教えてもらったことを思い出して、駆け付けたいです。(結奏 さん)